

News Release

デザインとはただ物の色や形を考えることではなく、人間の生活環境の改善を目指すもの 「イタリアのデザイン思考の原点を探る」ツアー報告会を開催

～人間生活を豊かにする思考と実践力を持つクリエイティブ人材の育成を目指して～

クリエイター（*1）支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」（所在地：大阪市北区 所長：堂野 智史）は、2015年11月29日～12月6日の8日間、ローマ在住の演出家で写真家の多木陽介氏のコーディネートのもと、公募で参加した7人のクリエイターとともに、ミラノ、ボローニャ、トリノの3都市を訪問し、「プロジェクトツィオーネ」（*2）の本質をたどるツアーを初めて実施しました。

1月13日に実際にツアーに参加したクリエイターより、「イタリアのデザイン思考の原点」についての学びや経験を共有する報告会を開催します。

*1 クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指す。

*2 プロジェクトツィオーネ：イタリアでデザインという語が定着するまで使われていた言葉。ただ物の色と形を考える仕事ではなく、人間の生活環境の改善を第一の目標とし、機能や生産の問題をより多角的に把握し、解決するといった自律性をもった仕事を意味する。

■役割が変化しつつあるクリエイター

人口減少期を迎え、クリエイターの求められる役割も変化しており、消費拡大のための商業的デザインではなく、一人ひとりの生活の質向上や、その延長線である社会課題解決のためのデザインを求められるケースが増えています。

昔からそのようなデザイン思考を行ってきたイタリアに学び、関西にも人間生活を豊かにする思考と実践力を持つクリエイティブ人材を生み出すために、「イタリアのデザイン思考の原点を探る」ツアーを昨年開催し、このたび報告会を開催します。



■7人のクリエイターがプロジェクトツィオーネを体感

今回のイタリア研修ツアーには、プロダクトやグラフィック、イラスト、Web、ライティングの様々なジャンルの7人のクリエイターが参加、「プロジェクトツィオーネ」を実践してきた先人や現在実践している人々から本質を学びました。

創造的思考を体得するためのワークショップを体験したり、親の離婚や家族の死などのテーマの絵本を発行する出版社、毎日約5000人が来館する図書館や低賃金層の庶民的な地区のコミュニティスペースなどを視察。どのような考え方でデザインされてきたか、ディスカッションを通じてその本質を学びました。報告会にはツアーに参加した全クリエイターが参加、それぞれの訪問先で感じたこと、学んだことを直接報告いたします。



本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

広報担当：松井

〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F

TEL:06-6316-8780（平日 10:00～21:30）

FAX:06-6316-8781

e-mail:info@mebic.com

ホームページ：<http://www.mebic.com/>

参考資料

■「イタリアのデザイン思考の原点を探る」ツアースケジュール

11月29日(日) 出発

大阪 → ミラノへ移動

11月30日(月) ミラノ滞在

アキッレ・カスティリオーニ財団見学

イントロダクションセミナー 講師:多木陽介氏

「地球的創造力ーイタリアンデザインの源流に現代世界における創造に有効な方法を探る」

児童書籍を発行する出版社 Carthusia (カルトゥージア)を訪問

親の離婚、家族の死などのテーマの書籍を生み出すプロセスについての説明

12月1日(火) ミラノ滞在訪問

ブルーノ・ムナーリ協会を訪問

創造的思考の育成を促すための教育法「ムナーリ・メソッド」ワークショップ

講師:ブルーノ・ムナーリ協会 シルヴァーナ・スペラーティ氏

12月2日(水)ミラノ → ボローニャへ移動(ボローニャ泊)

サラ・ボルサ図書館見学

セミナー「現代社会における図書館の役割」講師:アントネッラ・アンニョリ氏

12月3日(木)ボローニャ → トリノへ移動(トリノ泊)

サン・サルヴァリオ地区、地区の家(Casa del quartiere)の見学

トリノ工科大学建築学科の准教授 アンドレア・ボッコ氏とのディスカッション

バリエーラ・ディ・ミラノ地区、地区の家の見学

12月4日(金)トリノ → ミラノへ移動(ミラノ泊)

カヴァリアスタジオ訪問

ジャンフランコ・カヴァリア氏(建築家、トリノ工科大学教授)とのディスカッション

ショップや展示スペースの見学

12月5日(土)

現地自由解散、ミラノ → 大阪へ移動

■研修ツアー報告会 詳細は添付の資料をご参照ください

- 日時 2016年1月13日(水) 19:00~21:30
- 会場 メビック扇町 交流スペース3(大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F)
- 定員 50人程度
- 費用 無料
- 主催 大阪市ノクリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

■参加クリエイターの感想

南 大成氏(HIROMINAMI.DESIGN)

イタリアでは1980年代までデザイナーという言葉も、
細分化された職種もなく、社会的な問題を専門分野の垣根なく、
横断的な取組みで解決するプロジェッタツィオーネと呼ばれる人々がいました。

モノの色やカタチなど、現代で言う「デザイン」が目的ではなく、
戦後の貧しい社会と生活環境を自分の持つスキルでいかに豊かにするか。
物質的に豊かな現代に暮らす我々は「何のために仕事をするのか？」と、
問われる非常に示唆に富む体験でした。